



5月号
[No.474]

二小だより

横浜市立港南台第二小学校 横浜市港南区港南台5-4-1

臯月（さつき）

校長 菅原 久忠

以前、休み時間に私が校庭の脇を歩いていると、一人の子が、心配そうな表情で自分の方へ向かってきました。遊具の近くで座り込んでいる子を見て、何とかして欲しいと言ってきました。けがでもしたのかなと思いましたが、どうやらトラブルがあり、落ち込んでいるようでした。（教えてくれた子は、何とかしてあげたいと思い、声を掛けたけど、どうにもならなかったようで、私を呼んだようでした。その子の優しさが感じられて嬉しかったです。）私が、二人を引き合わせて言い分を聞いていると、子どもたちは、だんだん興奮してきました。校長が入って、けんかを焚きつけたとあっては大変と思いながら丁寧に話を聞くと、どうやら誤解があったようで、それぞれが自分は正しいと思っているようでした。相手の思いを感じたことなどを話し合い、お互いに誤解があったことに納得したようで自分たちで仲直りしていました。どちらが悪いという訳ではないようでしたが、それぞれが自分は正しいと思い込み、相手が悪いと決めつけてしまったために起きたトラブルでした。

相手とズレが生じたときに相手のせい、相手が悪くなってしまい、トラブルになることがあります。校庭での一コマは、自分が感じたこと、考えたこと、判断したことが本当に正しかったのか、相手を傷つけることになっていないか、ふと立ち止まって考え直すことが大切だと教えてくれているようでした。

新学期が始まって3週間が過ぎました。先日の1年生を迎える会への取組では、子どもたちは6年生中心に準備を進め、素敵な会にしました。5月は、新しい環境に慣れつつも不安な気持ちや思うようにいかない気持ちなど、一人ひとりの子どもの内面は、葛藤しています。私たちは、よりアンテナを高くして子どもたちの思いに寄り添う教育活動に取り組んでいきます。今月もよろしく願いいたします。